

第11分科会

学外の実践活動を生かした大学教育

報告者

吉川 昌孝 京都精華大学 メディア表現学部 教授
大下 大介 京都精華大学 メディア表現学部 教授
福原 習作 北近畿鉄道ビジネス株式会社 代表取締役

コーディネーター

小松 正史 京都精華大学 メディア表現学部 教授

学外の実践活動を生かした大学教育

コーディネーター

京都精華大学 メディア表現学部 教授 小松 正史

○本分科会のねらい

急速な社会環境の変化とともに、さまざまな規模の社会課題が生まれている。従来からの「文系」「理系」「芸術系」という枠を超えた新しい発想が求められる今、暮らしやすい社会を生み出すための教育実践例を紹介する。具体的には、京都精華大学メディア表現学部で実践している全員必修の2年次の学外実習（インターンシップ）の実態についての報告を行った。大学と連携企業の関わり方と学生の実践状況を紹介し、学外を意識した大学の実践教育のあり方についての議論を深める場となった。

○報告の概要

冒頭に、小松から全体の主旨説明を行った。高度専門職に必要な「課題発見・解決力」と「未来社会の構想・設計力」が問われていることを述べた。

講演1では「京都精華大学メディア表現学部における学外実習の実態」と題して、本学教授の吉川昌孝氏が報告を行った。本学部の特徴や社会実践の位置づけの説明がなされた。本実践プログラムによって社会への役立て方が体感され、学内の学びとは異なった学生の経験が蓄積され、企業と大学双方へのフィードバックの可能性のあることが述べられた。

講演2では「京都精華大学メディア表現学部における学外実習の実態」と題して、本学教授の天下大介氏の報告を、小松が代役としてプレゼンテーションした。インターンシップの具体的な体制・特徴・学生の体験内容・学生の手応え・今後のミッションを総括した。連携先企業からの感謝や気づきの多かったことが特筆する点であった。

講演では3「社会実践する大学生を企業で受け入れる試み」と題して、北近畿鉄道ビジネス株式会社代表取締役の福原習作氏が報告を行った。当該企業は本学部の受け入れ連携先である。受け入れまでの経緯・学生が運営に関わった鉄道イベントの詳細・動画の制作過程・学生からのお礼の内容などが紹介された。今回の取り組みによって企業側と大学側との連携体制が深まったことが説明された。

○報告に対する質疑ならびに全体討議の内容

登壇者3名が終始和気藹々とした雰囲気のもと、杓子定規ではない本音トークが織り成され、登壇者自身のブレインストーミング効果や発想の深化（進化）をつかみ取ることができた。同時に、参加者からのチャット意見も活発に書き込まれた。「報告内容が非常に実践的であり、共感できる内容で分科会の中で一番の満足度だった」「科目運営に是非取り入れたい要素がたくさんあった。企業からの率直な意見が参考になった」との反応があった。既存のインターンシップの枠組みでは収まり切れない可能性が、本実習に含まれていることが認識された。学外での社会実習やフィールドワークといった学生の経験値の幅を広げる位置づけが、こうした実習では必要であるとの見解に至った。

スライド1

第11分科会 学外の実践活動を生かした大学教育

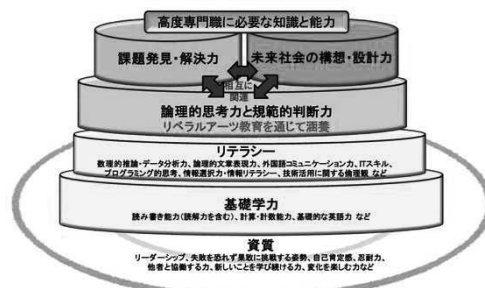
コーディネーター
小松正史(京都精華大学 メディア表現学部)

第28回FDフォーラム
挑選～多様な学びの支援に求められる挑選と選択
オンライン開催
大学コンソーシアム京都

スライド2

学外で大学教育を実践する意味は？

～Society 5.0 で求められる能力と資質～



出典:採用と大学教育の未来に関する産学協議会「中間とりまとめ共同提言」(2019年4月22日)、経団連「Society 5.0とともに創造する未来～」https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/003_honbun.pdf

スライド3

大学教育における学外での実践活動 ☞単位として認められているもの

- ・インターンシップ(就業体験)☞今回の対象
- ・フィールドワーク(野外調査・現場観察)
- ・教育実習
- ・博物館実習
- ・病院実習(医療系)
- ・農場実習(農学系)

スライド4

本分科会開催の狙い

なぜ、京都精華大学の学外実践活動をテーマとするのか？

- ・急速な社会環境の変化により多様な社会課題が生まれている
- ・学内のみならず、学外との接続を有効に活用した教育実践
- ・京都精華大学は文系・理系・芸術系の枠を超えた教学内容
- ・メディア表現学部では2050年の未来から今を見つめる活動
- ・プロジェクト型の実習授業を多様
- ・技術・表現・コミュニケーションを複合的に学ぶ必要性

スライド5

本分科会の最終的な着地点

大学と連携企業の関わり方と
学生の実践状況を紹介し、
学外を意識した大学の実践教育の
あり方についての議論を深めたい

スライド6

<プログラム>

- 9:32 趣旨説明 京都精華大学メディア表現学部 教授 小松正史
- 9:35 講演1「大学で社会実践することの意義と可能性について」
京都精華大学メディア表現学部 教授 吉川昌孝
- 10:00 講演2「京都精華大学メディア表現学部における学外実習の実態」
京都精華大学メディア表現学部 教授 大下大介
(聞き手:小松正史)
- 10:25 講演3「社会実践する大学生を企業で受け入れる試み」
北近畿鉄道ビジネス株式会社 代表取締役 福原晋作
- 10:50 休憩(みなさまからのご質問や取り上げてほしいテーマを募集!)
- 11:00 ディスカッション(終了は12:00を予定)

スライド1

大学で社会実践することの
意義と可能性について

京都精華大学
メディア表現学部
吉川昌孝

スライド2

1. メディア表現学部の紹介

- 2021年4月開講
定員168名 まだ2期生までで毎年180名以上
- 3つの専攻 音楽表現、イメージ表現、メディア情報
2年から専攻に分かれるがどの専攻の授業も受講可能
精華大の中では私立文系の学生を対象にした学部
グループワークなど多め
- 2つの特徴的な必修科目
プログラミングと**社会実践**

スライド3

2. メディア表現学部における「社会実践」の位置づけ

- メディア表現学部で育む2つの力
～「メディア設計力」と「**社会接続力**」
プログラミングは「メディア設計力」育成の一環
社会実践は「社会接続力」育成の一環

メディア・コンテンツは
常に社会との相互作用で制作・運営されるもの
≡ **社会と接続しているもの**
- 社会実践
2年時インターンシップ、3年時社会実践実習

スライド4

3. 「社会実践」の流れ

- 2年生の**インターンシップ**は社会（企業など組織）を「**参与観察**」
 - ・早期からの社会（企業など組織）との接点を体験
 - ・インターンシップ先は**70社以上**
 - 大手広告代理店、飲料メーカーから、地元の商店街や神社仏閣まで
 - ・想定以上の「インターン」への抵抗感の高さ
 - 企業と学生のマッチングに腐心 対等な立場で
 - ・ゼミ選別に好影響
 - インターン経験を通じて自分の方向性がより明らかに
- 3年生の社会実践実習は参与から「**企画・運営**」へ
 - ・各ゼミなどで企業などと協働してプロジェクトを運営
 - ・教員のゼミと連動したもの17、外部の非常勤講師にお願いするもの10、あわせて、**全27プロジェクト** 1プロジェクト平均5~6人

スライド5

4. 大学で「社会実践」する意義と可能性

- ・学修・研究内容の**社会への役立て方を体感**
- ・ファスト教養や安易なスキル獲得からの回避
- ・座学、演習・実習とは**異なる経験の蓄積**
- ・企業、大学**双方へのフィードバックの可能性**

スライド1

第28回FDフォーラム
第11分科会 学外の実践活動を活かした大学教育

京都精華大学メディア表現学部における学外実習の実態

京都精華大学メディア表現学部
大下大介

スライド2

項目

- ・授業「インターンシップ1」 1Q～4Qの流れ
- ・インターンシップの具体的な体制
- ・インターンシップの具体的な特徴
- ・インターンシップ研修を体験した学生の具体的な内容
- ・インターンシップ報告会からみる学生の手応え
- ・学生アンケートの振り返りと今後のミッション
- ・総括

スライド3

授業「インターンシップ1」
1Q～4Qの流れ

事前説明会（2022年の1月26日）

↓

2022年度 1Q：事前授業

↓

2Q：連携先の決定と日程調整＆顔合わせ

↓

2Q・3Q：インターンシップ研修（主に夏期休暇中）

↓

研修終了後、連携先へお礼状の提出
連携先からのコメントシートの提出

↓

3Q or 4Qインターンシップ報告会

※ プログラムの出席、研修、課題提出、報告会の発表など全て履修することで単位が認められる。

※ 2年生の必修授業で、2022年度は164名の学生が履修した。

スライド4

1・インターンシップの具体的な体制

- 連携先と教員の配置・教員の紹介 -

大下と3名の教員、計4名で授業を担当している。

教員4名と、連携先・学生の配置と役割

連携先

← 連携先の開拓・情報共有

3名の教員

← 情報共有・問題解決

大下

↑ 学生個別対応

↑ 学生のアテンド

教員3名のキャリア

教員A：アパレルブランドの取締役・区役所職員・介護福祉
教員B：編集者・イベント運営・音楽レーベル運営・展覧会のキュレーション
教員C：飲食店経営・自治体振興組合理事・公園管理・会計士

以上の様に、パレレルキャリアの実践者が教員としてこの授業を担当している。

スライド5

1・インターンシップの具体的な特徴①

- 学生が社会参与するための仕組みづくりについて -

テーマ① 専門性以外も含めた多様な仕事のあり方、役割、チームワークを体験する。
テーマ② ミスマッチの無い、実のある研修を約束する。
テーマ③ 「インターンシップ」のイメージと内容を改善する。

・ ミスマッチや無駄な時間を過ごさず、実のある体験をするために、3教員の仕事などの繋がりの中で信頼があり、この取り組みに賛同してくれた企業・団体・個人のみに協力頂いた。

・ 連携先は、学生を対等に接して、アイデアや能力、存在に関心が必要としている。

・ 実例を交えながら、学生とコミュニケーションを繰り返し、＜インターンシップ＝怖い、辛い、堅苦しい＞というイメージを軽減する。

連携先の例）劇場、飲料メーカー、リサイクルショップ、結婚式場、雑誌出版社、工務店、観光業、介護医療事業者、銭湯、福祉センター、ラジオ制作会社、化粧品メーカー、酒造会社、鉄道会社、WEB制作会社、書店、不動産会社、ゲーム制作会社、商店街振興組合など

スライド6

1・インターンシップの具体的な特徴②

- 学生への連携先情報の周知方法について -

・ 連携先の情報を閲覧できるWebを用意。

・ 雑誌感覚で、頼朝さん、友達と観ながらカタログで商品を選ぶ様な形式。

・ 気軽にWebから教員に質問することができる。

① Webの画面画像

② Webの画面画像

スライド7

1・インターンシップの具体的な特徴②

- 学生への連携先情報の周知方法について -

1Qの事前授業で、連携先から事業内容・業務内容・学生へのメッセージなどを伝えていただく＜連携先のプレゼンおよび交流会＞をおこなった。
交流会では学生が連携先とコミュニケーションが出来、理解を深める時間になった。



スライド8

1・インターンシップの具体的な特徴②

- 学生への連携先情報の周知方法について -

1Qの事前授業で、連携先から事業内容・業務内容・学生へのメッセージなどを伝えていただく＜連携先のプレゼンおよび交流会＞をおこなった。
交流会では学生が連携先とコミュニケーションが出来、理解を深める時間になった。



スライド9

1・インターンシップの具体的な特徴③

- コロナ罹患や個人的な事情で研修に行けない学生の対応について -

担当教員が飲食を提供できるレンタルスペースで飲食店を開店。その飲食店でスタッフとして研修。お客様、地域住民、地域で商いをされている方、教員とコミュニケーションが生まれ、サービスの楽しさ、難しさを体験する。様々な職種の情報を得る。



スライド10

1・インターンシップの具体的な特徴③

- コロナ罹患や個人的な事情で研修に行けない学生の対応について -

担当教員が飲食を提供できるレンタルスペースで飲食店を開店。その飲食店でスタッフとして研修。お客様、地域住民、地域で商いをされている方、教員とコミュニケーションが生まれ、サービスの楽しさ、難しさを体験する。様々な職種の情報を得る。



スライド11

2・インターンシップ研修を体験した学生の具体的内容

- 業種別・現場の仕事内容や特徴 -

デザイン、アート関連企画イベント施設

子供向けのアートイベントの企画・実施のためのスタッフとして研修をおこなう。



スライド12

2・インターンシップ研修を体験した学生の具体的内容

- 業種別・現場の仕事内容や特徴 -

酒造会社

作業工程の見学、体験。マーケティング部で実際の商品販売戦略のディスカッションやイベント企画をおこなう。

スライド13

2・インターンシップ研修を体験した学生の具体的内容

- 業種別・現場の仕事内容や特徴 -

神社

神社で行われた祭の準備、受付、来場者の案内をおこなう。地域の方々とお話しする中で、未来の「神社と地域の関係性」を考える。



スライド14

2・インターンシップ研修を体験した学生の具体的内容

- 業種別・現場の仕事内容や特徴 -

雑誌編集社

雑誌の特集記事の取材に同行。取材を客観的に「取材」することで、雑誌制作の一部の流れを知り、それ以外の情報で構成される雑誌づくりを学ぶ。



スライド15

2・インターンシップ研修を体験した学生の具体的内容

- 業種別・現場の仕事内容や特徴 -

商店街振興組合

商店街の夏祭りイベントの企画実践。小学生から幼稚園・保育園児、その親御さん方も含めた幅広い年齢層の方々とコミュニケーションを取り、商店街特有のあらゆる仕事の内容と地域住民の関係性を学ぶ。



スライド16

2・インターンシップ研修を体験した学生の具体的内容

- 業種別・現場の仕事内容や特徴 -

宿泊施設

ホテルの管理や人との関わりの多いカフェやイベントなどの運営を体験。人の心地の良い居場所づくりのための空間演出を学ぶ。

スライド17

2・インターンシップ研修を体験した学生の具体的内容

- 業種別・現場の仕事内容や特徴 -

ラジオ番組制作会社

収録見学、収録のタイムテーブルや時間の設定、CDの引き出し等を行う。プロデューサーとDJ、アシスタントと打ち合わせも行い、スタッフと円滑に連携することの大切さを学ぶ。



スライド18

3・インターンシップ報告会からみる学生の手応え

- 本学独自のインターンシップのプログラムの方向性 -

インターンシップ報告会

「インターンシップ報告会」をおこない、それぞれの研修での体験を他の学生へ共有した。個々の体験の報告から得た事をコメントシートにまとめ、自分ごととして今後の学びに生かす。



スライド19

- 3・インターンシップ報告会からみる学生の声
- 本学独自のインターンシップのプログラムの方向性 -

インターンシップ報告会

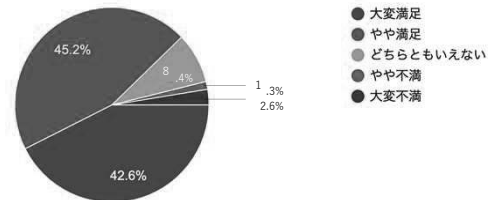
「インターンシップ報告会」をおこない、それぞれの研修での体験を他の学生へ共有した。個々の体験の報告から得た事をコメントシートにまとめ、自分ごととして今後の学びに生かす。



スライド20

- 4・学生アンケートの振り返りと今後のミッション
- 満足度/不満足について -

満足度グラフ



スライド21

- 4・学生アンケートの振り返りと今後のミッション
- 満足度/不満足について -

満足度の高い学生のコメント

- ・今後の進路に大きな影響を与えるほど、貴重な体験ができたから
- ・もしインターンシップの授業がなければ、おそらく自分で行動することはなかったと思うからです。すごく良いきっかけを与えていただきありがとうございます。
- ・普段はなかなか知ることができない様々な業界の仕事内容など実際に話を聞きながら学ぶことができた。自分が進みたいと思っている道以外でも興味を惹かれるものが多く、自分のやりたいことは何なのか向き合うきっかけにもなった。
- ・自分の専門分野から外れた内容の作業をインターンシップ先で体験させていただきましたが、体験中に見せていただいた表現方法には得られたものが確かにあったからです。
- ・自分の世界を広げるきっかけがとても多く、また、障害を持つ方々との触れ合いを通じて自分の考えなどをしっかり持つことができたから。

スライド22

- 4・学生アンケートの振り返りと今後のミッション
- 満足度/不満足について -

満足度の高い学生のコメント

- ・インターンシップを2回生の年に、普通より一年早く体験しておくことができ、次に自分で探した企業のインターンに行くときに生かせることができると実感したから。また2回生の段階では、自分からはインターンに参加しなかっただろうし、それを必修科目で受講することでこのように経験することができたから。
- ・当初想像していたものは、自分がやりたいと考えている専門分野を社会に出て経験しスキルや肌感を掴むものだったが、実際受講した後では専門分野外のものに触れ視野を広げるという考え方に変わった。
- ・社会に対する価値観や不安感、偏見などと向き合い、どのように社会に貢献していくのかを考察する場でもあるのだと感じた。
- ・お客様により良い体験をしていただきたいという心構えは、ものを作ることに關しても通じることだと気づいた。ものづくりや表現に関する仕事では、誰に届けるのかを意識することが大切だと考えた。

スライド23

- 4・学生アンケートの振り返りと今後のミッション
- 満足度/不満足について -

満足度の低い学生のコメント

- ・研修期間が思ったより伸びてしまい、大学の勉強とインターンシップの両立が大変だと感じたことがあります。
- ・当初伝えられていた時間に解散しなかったことだけ少し困りました。
- ・興味で選ぶのもいいが、今後の職に合ったインターン先を選んでいただきたい。
- ・インターンシップの現場や実際の状況などによって体験するのがそれぞれ異なると思うが、具体的にどのような研修を受けるかについて説明が詳しくなかった時もあったと思う。
- ・もちろん授業の中で、そのための質疑時間はあったが、質問したくても自分のような留学生には言語の問題や、授業の時に教室の前に行くのが簡単にできない内省的な性格の人には難しく感じたことがあるかと思う。

スライド24

- 4・学生アンケートの振り返りと今後のミッション
- 満足度/不満足について -

満足度の低い学生のコメント

- ・私の友達で、「派遣先でただ雑用をしただけで終わった」と言っている人がいたので、もっと学生が良い学びを得られるようにしてほしい。
- ・インターン内容を聴き比べていると満足度に大きく違いがあると思われるので、インターン内容の詳細をより明確にしたほうがいいでしょう
- ・インターンの不安が少しでもなくなるように、先輩の話をもっと聞きたい。
- ・宿泊費などの援助があれば、私も含め東京などに行きたかった人のハードルが下がるのかなと思いました。
- ・47都道府県とは言いませんが、北海道から沖縄までインターンで行けるようになればと思います。また、メディア情報・イメージ・音楽の分野で活躍できる場をお願いします。

スライド25

4・学生アンケートの振り返りと今後のミッション 「満足度の低いコメント・学生からの要望から見えてくる改善点」

業務内容の正確な情報の充実とその周知
 連携先とのマッチングのサポート
 学生へのヒアリングの充実
 交通費のサポートのリクエスト
 先輩からの声

⇒ 教員との距離感の改善 ⇒ 風通しの良いクラス制

スライド26

5・総括

- ・学生、連携先からの要望・意見などから、一つ一つ改善していきたい。
- ・連携先から、感謝・気づきの声をいただくことが多くあったので、受け身ではなく、提案し続ける姿勢を持ち続けたい。
- ・研修終了後、連携先から仕事を頂いたり、アルバイトで継続する学生がいた。インターンシップで終わらず、その後の関係性も視野に入れた内容やアテンドの方法改善をおこないたい。
- ・満足度を増やしながら、より良いインターンシップの方法を探る。その方法を他の大学、高校などへ広げ、協働し、より良い社会への一歩を踏み出し、自ら社会を変革する若者が増えることを希望としている。

スライド1

第28回FDフォーラム
第11分科会 学外の実践活動を活かした大学教育

社会実践する大学生を企業で受け入れる試み

北近畿鉄道ビジネス株式会社 代表取締役 福原習作

スライド2

北近畿鉄道ビジネス株式会社について

・企業コンセプト
鉄道と地域を繋いで人が元気になるお手伝いを致します。

【主な事業】
鉄道イベントの開催（鉄道事業者・地方自治体・企業様など）
鉄道関連グッズの販売
地方活性化にかかわる事業



会社ロゴ
① 弊社所在地 京都府舞鶴市を走るJR西日本・WILLER TRAINS（株）のコーポレートカラーを採用
② イメージは専任鉄道会社を走るKTR8000型特急車両（丹後の海号）をイメージ
③ 3本の波は【鉄道】【地域】【人】を表す。
④ 3本の波を合わせることでよりビックウエーブを起こし地域発展を担う企業になりたいとの思い
3つの点は創業時の3名の役員を表す。

スライド3

【自己紹介】
昭和42年（1967年）京都府舞鶴市生まれ 舞鶴市在住
北近畿鉄道ビジネス代表取締役・株式会社福原表具店代表取締役

【経歴】
京都府立西舞鶴高校卒業
大阪トラベルジャーナル旅行専門学校（現 ホスピタリティー専門学校大阪）卒業
旅行会社・量販店・表具店勤務のち 平成18年1月 福原表具店 創業（令和2年10月法人化）
平成29年3月 北近畿鉄道ビジネス株式会社 設立

【各種団体役職経歴】
現職 舞鶴市社会教育委員会 会長（中丹地区社会教育委員連絡協議会理事）
平野屋商店街振興組合 専務理事
舞鶴商工振興会 理事兼青年部長・城北校区地域支援協議会 副会長
過去 舞鶴市立明徳小学校 PTA会長・舞鶴市立城北中学校 PTA会長
舞鶴商工会議所 青年部 理事
ほくと贈信会 副会長

スライド4

受け入れまでの経緯

・令和4年3月 担当講師からの学生受け入れの依頼
前向きに受け入れを検討する中、本業である株式会社福原表具店とイベント事業が主となり業務量が少ない北近畿鉄道ビジネス株式会社のいずれで受け入れるかを検討。
令和4年（2022年）は鉄道開通150周年、舞鶴と福井県敦賀市を結ぶJR（国鉄）小浜線開通100年、そして舞鶴赤煉瓦倉庫群前を走っていた国鉄中舞鶴線が廃線から50年の節目で鉄道ビジネスでイベントを計画。
何だかの形で学生にこのイベントに関わっていただきたいとの思い
↓
北近畿鉄道ビジネスにて受け入れを決定

スライド5

受け入れにあたって学生向けにプレゼンを実施 多くの学生を前に緊張いたしました

京都精華大学メディア表現学部
インターンシッププロジェクト 説明資料





北近畿鉄道ビジネス株式会社

スライド6

鉄道イベント概要（案）
日時 令和4年11月6日 日曜日
会場 京都舞鶴港「うみとびら」 令和3年4月開設
鉄道会社PRコーナーや鉄道部品の販売、子ども向けアトラクションやステージイベント開催





ターミナル利用イメージ

本イベントを通じてイベントの運営、チラシ作成等一緒に進めたいと考えています。
当日学校からご連絡を頂き1名の学生の派遣を決定いただき取り組みをスタートさせました。

スライド7

インターシップを準備するにあたり、受け入れ学生と面談。学生の意向を伺いつつ、中興線に関する動画を作成し、その成果をイベントにて発表することを最終目標として、研修時間を考慮しながらタイムスケジュールを作成。学生と共有しスタートしました。

インターシップタイムスケジュール			
日付	時 間	内 容	会 場
11月10日 8月25日(月)	10:00	1 内務院記録 国鉄京葉線・中興線	地味丸商店
	10:15~11:45	2 オリエンテーション インターシップ進め方の確認	
	12:00~13:00	昼食 インドネシア料理(地味丸)	
	13:30~15:00	3 (前導) 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	15:30~17:00	4 (後導) 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	17:15	5 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	18:00	6 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	18:00~19:30	7 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	19:45~21:00	8 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	21:15	9 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月11日 8月26日(火)	10:00~12:00	10 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	12:00~13:00	11 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	13:30~15:00	12 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
	15:30~17:00	13 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月12日	10:00	14 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月13日	10:00	15 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月14日	10:00	16 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月15日	10:00	17 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月16日	10:00	18 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月17日	10:00	19 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月18日	10:00	20 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月19日	10:00	21 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月20日	10:00	22 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月21日	10:00	23 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月22日	10:00	24 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月23日	10:00	25 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月24日	10:00	26 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月25日	10:00	27 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月26日	10:00	28 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月27日	10:00	29 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月28日	10:00	30 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月29日	10:00	31 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
11月30日	10:00	32 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月1日	10:00	33 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月2日	10:00	34 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月3日	10:00	35 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月4日	10:00	36 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月5日	10:00	37 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月6日	10:00	38 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月7日	10:00	39 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月8日	10:00	40 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月9日	10:00	41 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月10日	10:00	42 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月11日	10:00	43 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月12日	10:00	44 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月13日	10:00	45 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月14日	10:00	46 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月15日	10:00	47 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月16日	10:00	48 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月17日	10:00	49 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月18日	10:00	50 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月19日	10:00	51 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月20日	10:00	52 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月21日	10:00	53 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月22日	10:00	54 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月23日	10:00	55 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月24日	10:00	56 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月25日	10:00	57 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月26日	10:00	58 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月27日	10:00	59 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月28日	10:00	60 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月29日	10:00	61 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月30日	10:00	62 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG
12月31日	10:00	63 中興線と中興線の歴史について	CooperHistoryVillage MADAJUNG

※ 1 KION 京都新聞センター3階 ワーキングスペース 地下鉄舞鶴駅より徒歩5分

スライド8

実地研修の様子



フィールドワークにて実際の廃線跡を巡る



実際の勤務者から当時の様子を聞き取り

スライド9



スライド10



スライド11

後日(11月11日)京都新聞北部面に掲載
事前に記者の方より今回の取り組みを記事にする旨を伺っており、楽しみにしておりましたが、翌日掲載された開催時記事より大きく正確に記述されました。

当日ステージ横で学生制作動画をエンドレスで上映。新聞記事にして頂いた記者以外にも、多くご来場者が足止めその動画を食い入るよう見ていただくことが出来ました。

国鉄中興線の歴史 後世に
京都精華大生が動画制作



スライド12

学生のお礼状から今回の成果となる文言として
動画制作のモチベーションが上がった

1泊2日の現地視察と実務者からの聞き取りの後、これからどう進めるか学生と相談。こちらはありとあらゆる素材を渡したので、吸収できたのか?何をターゲットにするか? どう作りたいか学生の考えを聞いた



学生から実務者の体験談についてまとめ上げたいとの意見

私たちもその意見を尊重し学生に制作一任させて頂いた

スライド13

イベント運営の裏側について知ることができました

社会（現場）へ出た時、多様な価値観を持った方々と接することが多くなる。今回動画作成をしながら、イベントについての弊社の考え方をレクチャーさせて頂きました。

当日だけでなく前日準備並びに前泊者懇親会にも加わっていたき、私たちのイベントに対する思いや、出展者及び外部スタッフの関係する方々との調整も肌で感じて頂くことが出来、良きグループコミュニティによって、イベントがスムーズに運営できることを実感して頂けたと思う

スライド14

実際に評価する目的以外で自分の制作物をみている人を目にして、ネガティブに考えながら制作するのは見る人に対して失礼だと感じたので、制作するもの全てに自信を持っていこうと考えました



今後社会人として様々な事業・職種に携わる事になるが、自信と誇りをもってクオリティーの高い仕事に取り組み、その評価が上がることを体験出来たのではないかな

今回の取り組みは当該学生にとって非常に良い経験になったのではないかと感じる

スライド15

・受け入れ企業側としての成果

- ・メディア表現学部との取組で、弊社の弱点であり課題でもあった動画にて資料を後世に残す取り組みを、動画編集を授業の一環としている学生とのコラボで実施することが出来た
- ・地方都市、零細企業において大学生とのかわりを持つことが少なく、特にイベント開催時に関係者からの注目度も高く、受け入れ企業価値として非常にメリットがあった。

・受け入れについて気になった点

- ・インターンシップ＝就職につながる この点では全く希望にこたえられない企業 学生にとって弊社が受け入れ企業となって良いのかとの自問
- ・受け入れ学生との相性 今回は学生の性格・スキルと弊社の考え、研修内容を合わせる事が出来たが、このような成果がどの学生を受け入れてもできるのか？
- ・学生への負担 今回学校側から研修時間が明示され、研修スケジュールは時間を割ったが、編集はいわゆる宿題（課題）扱いとなり、負担を強いところもある

スライド16

・次年度以降について

- ・担当講師との調整にもなりますが、希望する学生がいれば受け入れていきたい
- ・本年度の結果を踏まえ、学校・学生・企業3者が満足できるカリキュラムを構築しながら、企業として学生が社会で活躍できる第一歩を踏み出せるように応援したい。

ご清聴ありがとうございました